

関係各位

鉄骨造建物実験研究分科会
 委員長 和田 章 (東京工業大学)
 鉄骨造建物実験研究実行部会
 部会長 笠井和彦 (東京工業大学)
 防災科学技術研究所 引野 剛

建築学会大会会場内での
E-ディフェンス鋼構造建物実験
実験後説明会のご案内

防災科学技術研究所では、2005年度から5年の計画で、鋼構造建物の耐震実験研究を進めています。これまでにE-ディフェンス震動台を用いて実大実験を行ってきており、本年3～4月には「5層制振構造建物実験」(図1)、そして今月は「テストベッドを用いた3層ロックングフレーム実験」(図2)を行いました。

このたび、これらの実験結果の概要を建築構造の研究関係者に広く知っていただくとともに、皆様の貴重なご意見を賜る場として、標記説明会を建築学会大会期間中に開催することとしました。大会期間中であり、お忙しいこととは存じますが、是非ともご参加賜りますようお願い申し上げます。

なお、「5層制振構造建物実験」に関しては、建築学会の通常セッション(論文番号22368～22381、8月27日(木)14時29分～16時24分、2号館250号室)にて速報を発表しますので(論文番号22370～22378)、本説明会では「テストベッドを用いた3層ロックングフレーム実験」を重点的に報告する予定です。

記

- 開催日 : 8月28日(金)12:30～13:00(鋼構造パネルディスカッション:
 「鋼構造による新構造システム開発の現状と今後の展望」の終了後に開始)
- 場所 : 東北学院大学 日本建築学会大会会場内2号館256号室
- 講演者 : 東京工業大学 笠井和彦教授(防災科研 鉄骨造建物実験研究実行部会長)
 東京工業大学 竹内 徹教授(同 テストベッド実験WG 主査)
 北海道大学 緑川光正教授(同 テストベッド実験WG 委員)

以上

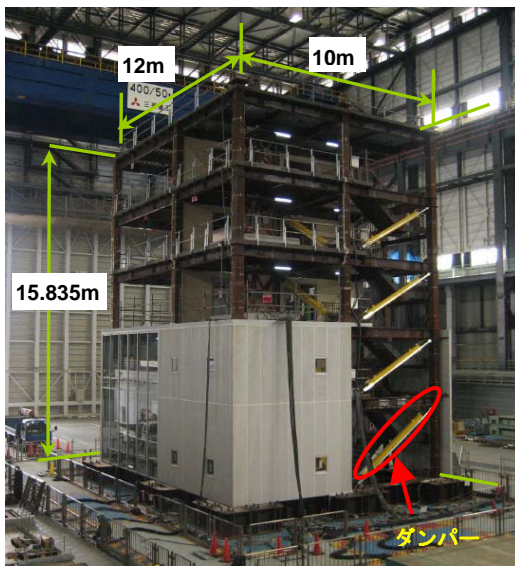


図1 5層実大制振構造実験

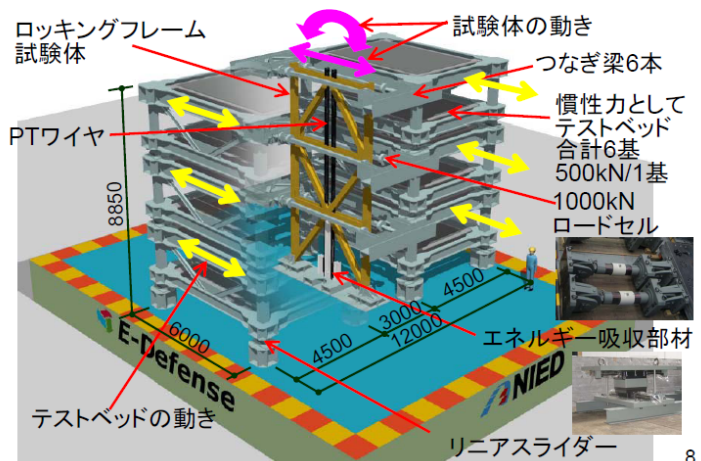


図2 テストベッドを用いた3層ロックングフレーム実験